

私の本棚

中央図書館新着図書

「アメリカよ、あめりかよ、」

落合 信彦 (集英社)

’60年代初めの自らの留学体験を通して、アメリカの盛衰を浮き彫りにする一冊。当時のアメリカは、限りない夢と希望に輝き、若さと活気ではちきれんばかりだったか……。



一般書

◇「東京集中」が日本を滅ぼす (八幡和郎) ◇天の歌 (中上健次) ◇水商売からの眺め (J・D・モーリー) ◇疑惑の墓標 (藤桂子) ◇尊属殺人罪が消えた日 (谷口優子) ◇彼岸の駅 (立松和平) ◇活字のサーカス (椎名誠) ◇ボクの学校は山と川 (矢口高雄) ◇偽証 (小杉健治) ほか

児童書

◇おもしろ荘の子どもたち (リンドグリーン) ◇ブラネックさんにご注意! (ネストリンガー) ◇こねこのびっち (ハンス・フィッシャー) ◇はっぱのふとん (南本樹) ◇ドングリ (埴沙萌) ほか

■1月のテーマ関連図書コーナーは「暦」です。

■親子読み聞かせ会は
毎週金曜日、午後2時30分から

■中央図書館の休館日は
1月17、28、2月11、21日



文化6年9月
屋形様御渡野の時御通行絵図

は「大館町丁場より釈迦内村郷境までの所、地くはって左右関より水上り街道ありと記す。長木川を越えてから釈迦内村境までの街道は、常に水には悩まされたようである。

文化6年(一八〇九)九月に藩主義和公が当地を巡回した際の路程絵図面(一関家文書)の大館より釈迦内部分であるが、その道筋は板子石に入らず釈迦内村に抜けている。郷境から釈迦内神明社までの路程は今後の研究課題であろう。

釈迦内本郷へは、釈迦内神明社北麓下の乱川橋を渡り、実相寺門前の急な坂を登って本郷通りへと至る。

市役所史跡探訪会

大館の歴史散歩

羽州街道・(中) (大館城下・釈迦内)

峠・坂
里の道 ⑩

独鈷町から街道沿いに町割りが見えている通り町へは、小十郎川にかかる板橋を渡った。小十郎川は、現在の通り町入口付近から市立桂城幼稚園前を通り、秋田食糧事務所大館支所脇へ流れる用水路

筋が、それであつたと考えられるが確定は困難である。通り町水分神社前を通り、徒歩で長木川を渡った街道は、有浦の田んぼを北上する。宝暦九年(一七五九)の街道書留帳(『大館市史』第二巻)

校の西側を北進した街道は、釈迦内村との郷境、現在の卸売市場地内に入ったと考えられる。ここまでの道筋はおおよそ復元できるが、この村境から現釈迦内神明社までの間を、どのような道筋で辿ったのかは不明である。



除雪にご協力ください

いよいよ冬本番をむかえ、市では道路の除雪に万全の態勢をとっていますが、市民の皆さんには、つぎのことにご協力くださるようお願いいたします。

- 道路には絶対に車を放置しないようにしましょう。
- 入口等に残った雪は各自で処理するようにしましょう。
- 道路には雪を出さないようにしましょう。

消費者の窓

ホームパーティー商法にご注意を!

ホームパーティー商法は、一時沈静化していましたが、最近、県南・中央地区で被害が続発しています。被害にあわないよう、十分にご注意ください。

ホームパーティー商法の手口

「料理講習会を無料です。お宅をお借りしたいのですが、知人・友人を集めてください。」と電話で依頼があります。

承諾すると、高級ステンレス鍋セットを使った料理の実習があり、その後、この鍋セットの購入を勧められます。一セット二十万円以上もす



困ったときのご相談は

市役所市民生活課へどうぞ
☎49-3111 (内線206)